

全日本

花いっぱいだより

第57号

令和7年1月

全日本花いっぱい連盟

あけまして おめでとうございます

長野県松本市

令和6年度 花いっぱい花壇コンクール・
フラワーコンテスト最優秀賞作品



花壇コンクール 個人の部



フラワーバスケット部門



ハンギングバスケット部門 フリーの部



花壇コンクール 団体の部

石川県金沢市 市民の憩いの場 金沢城北市民運動公園

緑と花の課 緑化推進係



も恵まれています。清らかな犀川や浅野川の他、わき水も多く、水が豊かな町であり、「用水のまち」としても有名です。

今回チューリップを植えたのは、金沢城北市民運動公園内にある、金沢ゴーゴーカーレースタジアムの西側駐車場の植栽帯です。金沢城北市民運動公園は、金沢市制百年記念事業として、本市初の本格的な野球場及びサッカー場を備えた運動公園として整備されました。その後、市民プールや屋内型の公共施設などを竣工し、また、市民サッカー場を北陸初のJリーグ規格を満たすフットボール専用スタジアムとして再整備をおこないました。市民スポーツの核として市民が身近にスポーツを体験できる場所となっています。

金沢市は石川県の県庁所在地であり、県のほぼ中央に位置しています。市内には山も海もあり、自然にとて



金沢ゴーゴーカーレースタジアムでの試合の様子

本スタジアムに本拠地を置くツエーゲン金沢の試合の際には、チューリップを植えた植栽帯の付近を多くの観戦者が行き来しています。また、チューリップだけではなく、今年の秋に新たに金沢市の市民推奨花に加わったビオラと一緒に植える

ことで華やかさをプラスしました。今後としては、チューリップの球根を増やしなが季節の草花を植えることで、スタジアムを訪れる方々の癒しとなるような手入れを続けたいと思います。

金沢城北市民運動公園では、今回



桜の植樹の様子



植栽後の花壇

植えたチューリップのほかにも、スタジアム外構の樹木維持管理として桜の苗木などの植樹を進めています。緑化活動を進めることで緑や花がふれる市民の憩いの場になればと職員一同思っています。ぜひ、金沢城北市民運動公園に一度足を運んでみてください。



チューリップの植栽箇所



チューリップ植栽の様子

富山県射水市 花と緑の銀行

射水市農林水産課 奥村 涼太

射水市は富山県のほぼ中央に位置し、豊かな自然・工業地帯・住宅地がバランスよく共存しています。

富山湾に面した新湊漁港では白エビやベニズワイガニといった海産物がたくさん水揚げされます。米作りも盛んで広大な水田地帯が広がっており、晴れた日には雄大な立山連峰をのぞむことができます。

射水市では富山県が設置している「花と緑の銀行※」に「花と緑の銀行射水支店」として参加し、市内の緑化推進活動を行っています。

「花と緑の銀行射水支店」には137名の方が所属し、各地区で花壇の管理や保育園・介護施設等で花に関する教室を開催するなど様々な活動に取り組んでいただいております。

毎年7月に開催される花壇コンクールでは、熱意を感じられる完成度の高い花壇が展示され、今年度は「歌の森運動公園西側花壇」が3年連続県内で最優秀賞、「市井コミュニティ花壇」も3年連続優秀賞を獲得することができました。

この二つの花壇は県内だけではなく、



歌の森運動公園西側花壇

く、全国から視察の申し入れがある自慢の花壇です。
一方で令和6年1月1日にあった能登半島地震では震度5強を観測し、



花壇コンクール審査の様子



市井コミュニティ花壇

液状化現象による道路陥没や住宅の被害などがありました。



保育園での種だんご作り

そのような、大変な状況の中でも花壇管理に懸命に取り組んでいただき、地震で被害を受けた方々に、笑顔をお届けすることができました。
今後も射水市を緑あふれる豊かな街にするため、地域の皆様と協力しながら、引き続き緑化推進活動にとり組んでまいります。

※花と緑の銀行は、花と緑に満ちた潤いのある社会になるよう、富山県の「花と緑の県づくり」をすすめる「推進母体」です。
花と緑の銀行から配給された種苗が、花を咲かせ、種子や株分けから増殖し、近隣の人たちと分け合い、いずれ一部が花と緑の銀行に返ってくるといったような銀行の貸借をイメージしました。

ら増殖し、近隣の人たちと分け合い、いずれ一部が花と緑の銀行に返ってくるといったような銀行の貸借をイメージしました。

東京都狛江市

緑化プランナー派遣制度

狛江市環境政策課

狛江市は、新宿駅から電車で約20分、市域面積は6.39km²であり、全国で2番目に小さい市であります。

地域の北側に野川、南側に多摩川が流れ、狛江駅北口には狛江弁財天池特別緑地保全地区が指定されているほか、樹林地、寺社林、農地など、豊かな水と緑に恵まれたまちです。

狛江市では、「花いっぱいエリア事業」と称して事業に取り組んでおり、アドプト制度に登録した団体等に対して、花苗を配布しています。市内に四季折々の花を植えることで、景観の

向上を図るとともに、身近な場所から緑を増やしていくことを目的に実施しております。

平成26年度には、狛江市立狛江第三中学校が、狛江駅北口駅前広場のプランターや中学校に隣接するふれあい側道脇の植栽帯に花々を植える活動に対して、全日本花いっぱい連盟より、花いっぱい功労表彰者として表彰されております。この活動は、今もなお、継続して行われており、景観の維持向上に対する持続的な力が育まれています。

令和6年度からは、市内の公園等で清掃や花壇への植栽等の管理運営を行っているアドプト団体等に対して、スキルアップの機会を継続的に創出するため「緑化プランナー派遣制度」を創設いたしました。

この制度は、植物の育て方についての正しい知識を備え、園芸やガーデニングの魅力や楽しさを周りに伝えることができ、地域の良好なコミュニティの形成に資することができる専門家を「緑化プランナー」として派遣するものです。

今後、緑の将来像「みんなで活かして・つくり・高め・育てて・継ぐこまへの緑」の実現に向けて、市民・事業者・行政が連携して、市内を「花いっ

ぱい」にできるように、緑化施策を推進してまいります。



事務局だより

令和7年度の全国大会は開催されません。

第62回以降の開催都市の意向調査を継続してまいります。市制施行記念日を迎える人口8万人以上の都市を対象といたします。

会員の皆様におかれましては、緑化関連の各種イベントを盛り上げる事業の一環として是非、全国大会開催に向けてご検討をいただきたくお願い申し上げます。



第57号

発行日 令和7年10月
発行 全日本花いっぱい連盟事務局
長野県松本市中央1-18-11

Mフインズ2F

TEL 0266313213042
FAX 0266313216511